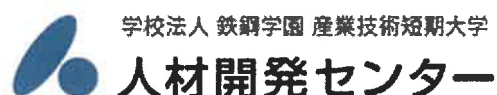


各社教育ご担当様



カワセミだより 2024 年 9 月



謹啓 秋暑の候、貴社にはいよいよご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今回、「レジリエンス“ヤリガイ向上”研修」をご案内いたします。

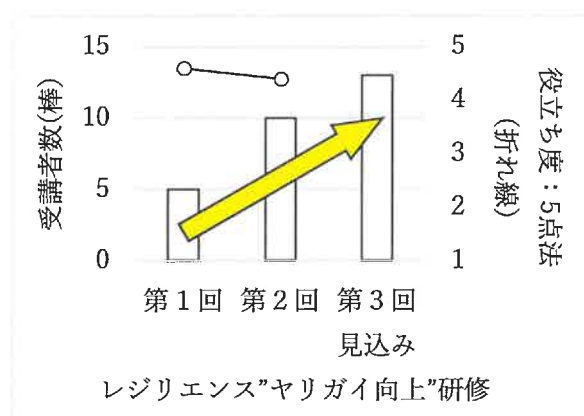
我々にとっては比較的新しい研修で、今回で3回目となります。

過去2回、受講者様に高評価を頂き、

口コミなどで人気急上昇中です！

多数のご参加をお待ちしています。

詳細は別紙をご参照ください。



酷暑の折柄、くれぐれもご自愛ください。

また、台風10号で被害にあわれた方へ心よりお見舞い申し上げます。

敬具



第3回レジリエンス”ヤリガイ向上”研修 参加者募集のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、掲題研修の開催ご案内をさせていただきます。
つきましては、貴社ならびに関係・協力会社様より多数のご参加を賜りたく、
よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

1. 研修日程: 2024年12月2日(月) ～ 12月3日(火) 【2日間合宿】
2. 研修場所: 臨済宗妙心寺派の大本山”妙心寺”&花園会館
アクセス | 妙心寺 (myoshinji.or.jp)
3. 参加費: 82,000円/名 (消費税込み)
* 資料代、研修期間中の宿泊費・食費を含みます。
・ 花園会館に前泊される方は実費(12,000円/人程度、翌日朝食代込み)を
参加費と合わせて請求いたします。
・ お支払い方法
研修終了後の月初に発行いたします請求書の指定口座にお振り込み下さい。
・ キャンセルの扱い: 研修前の3日(土・日、祝日を除く)以内のキャンセルは、
参加費全額をご請求させていただきます。
4. 申込方法
別紙「参加申込書」に、必要事項をご記入頂き、EメールもしくはFAXで
申込願います。
申込期限: 2024年10月4日(金)
申込期限後に参加のご案内をいたします。
5. 連絡先: 担当 高部 秀樹、井上 里美
Tel: 06-6433-7758、Fax: 06-6433-6981
Eメール: info.jinzai@cit.sangitan.ac.jp

以上

～皆様とともに50年、そしてこれからも～
[産業技術短期大学人開センター \(sangitan.ac.jp\)](http://sangitan.ac.jp)

— 35歳以上現場中高年の働き方・意識改革 —

狙い

中国鉄鋼メーカーの台頭により、業界を取り巻く環境が厳しくなるなか、収益向上のため安全性を確保しながら生産性を向上させる事が益々求められています。また、定年延長に伴う職場の高齢化が進む一方で、役職の若返り化も進みつつあります。これらの状況が35歳以上の現場従業員のストレスを高めています。そこで、今のご自身を見つめ直すことで、新たに挑戦・成長する機会をつかみ、前向きな一歩を踏み出すための“気づき”を得ていただくことを本研修では目指します。

対象者

35歳以上の現場従業員の方。 募集人数:15名/回、最少催行人数:8名

開催期日(1泊2日合宿研修)

第3回 12/2(月)～3(火)

場所

大本山妙心寺(京都)・花園会館(寺隣接)

参加費

82,000円/名



大本山妙心寺(臨済宗)

【臨済宗妙心寺派大本山妙心寺のHPより】

特徴

1. 講師は、鉄鋼業界で勤続経験のあるキャリアコンサルタントです。
2. 座禅や写経、法話により、自分の内面との向き合い方や、人にとって仕事とは何かを学びます。
3. 座禅等や他社の方とのグループ討議を通して、新たに挑戦・成長する機会をつかみ、前向きな一歩を踏み出すための“気づき”を獲得します。

カリキュラム(予定)

< 事前課題 >	< 1日目 >	< 2日目 >
①事前アンケート ・職場での自分の役割等について気になっている事等 ・人生100年時代に向けて準備しようと考えている事 ②私の職場概要説明 ③課題小冊子に関するアンケート ④ライフラインチャートの作成	9:15 開講、オリエンテーション、自己紹介、職場の概要 10:00 座禅1と法話 12:20 齋座(昼食)作法説明 12:50 齋座(昼食) 13:50 写経と座禅2 17:00 第1回グループ討議(座禅研修の学び等) 18:00 夕食、懇親会	8:30 ライフラインチャート発表、第2回グループ討議(職場での私の役割等) 12:00 昼食 13:00 ・第3回グループ討議(私の幸福感) ・行動計画書作成 ・2日間の学びと決意表明等 16:00頃 終了

受講者様の声

受講者様の役立ち度ご評価
 4.5 (5点法)
 (2022年11月～2023年7月)

- ・他社の同世代と交流できた。坐禅を通じ自分と向き合うことが出来た。(40代)
- ・日ごろ日常生活では経験できない妙心寺の修行体験をさせていただいた。坐禅、写経、食事等、全ての行動に意味があること、自分への成長に繋がることだと思う。(40代)